

見積仕様書（案）

第 1 節 業務の目的

本業務は、総合技術センター敷地内複数箇所に保管している実験機器において、低濃度 PCB 含有可能性のある部品（絶縁油を用いたコンデンサー、変圧器等）の有無を確認するとともに、確認された低濃度 PCB 含有可能性のある部品について、銘板の確認やメーカーへの問合せ、分析等を行うものである。

第 2 節 計画準備

受注者は、業務目的及び業務内容を十分に把握したうえで、業務計画を立案する。

また、機構より貸与する実験機器リスト(以降「リスト」と略す)の内容を確認し、調査対象に漏れないか等の確認を行う。

第 3 節 低濃度 PCB 含有可能性調査

受注者は、以下の手順で実験機器の低濃度 PCB 含有可能性を確認する。

なお、対象となる実験機器の保管場所は、(別添)平面図に示す 8 箇所である。

(1) メーカー確認

受注者は、「リスト」に記載されている実験機器のメーカーに、対象となる機器において内蔵あるいは外挿されているコンデンサーや変圧器等の低濃度 PCB の含有可能性がある部品（以下 PCB 含有可能性部品と略す）の有無を確認する。

確認対象となるメーカーが判明している機器数は 104 基である。

(2) 実験機器調査

実験機器の保管場所において、実験機器の PCB 含有可能性部品の有無を確認し、実験機器ごとに区分を行う。対象とする機器数は 124 基である。

実験機器調査における実験機器区分は以下の 3 通りとする。

【有】：PCB 含有可能性部品が確認されたもの。

【PCB 無】：PCB 含有可能性部品が確認されなかったもの。

【不明】：現地状況等により十分な確認ができず、PCB 含有可能性部品の存在を否定できないもの。

調査対象には復旧不要と復旧必要があり、取り扱いは以下の通りとする。

なお、分解は、一般的な工具を持ち込んで実施するものとする。特殊な用具や重機等を使用する分解については見積の対象外とする。

復旧不要：調査時において分解可能であり、分解後に実験機器として再度稼働できなくともよいものとする。分解して調査した後は、外観は元の形状に戻すこととする。対象と

なる機器数は 114 基である。

復旧必要：外観観察やハッチを開けるなど容易に原状復帰ができる方法で調査を行うものとする。対象となる機器数は 10 基である。

(3) 銘板等調査

(2) で、【有】【不明】と区分した実験機器を対象とし、以下の調査を行う。

①銘板等による製造年代調査

②銘板等がない、もしくは不明確な場合、実験機器の保管図書による確認やメーカーへの問合せ等

これらの調査により、PCB 含有可能性部品における低濃度 PCB 含有可能性を判断し、含有可能性が確認された実験機器は【PCB 有】、含有の可能性が否定された実験機器は【PCB 無】の区分を行う。

また、上記の区分ができない実験機器については、【分析対象】と区分する。

第 4 節 PCB 分析調査

第 3 節で、【分析対象】と区分した実験機器の PCB 含有可能性部品を対象とし、低濃度 PCB 含有分析調査を行う。

分析調査は、一般社団法人日本環境測定分析協会が認定する分析機関に依頼して行う。

見積内容は、一般的な採油作業（小型のコンデンサーに穴を開けての採油、穴埋め、使用した消耗品の処分）と、分析の費用を含むものとする。

－ 以 上 －